
鐵 百合奈（ピアノ）

Yurina Tetsu, Piano

2019 年、N&F よりデビューCD「シューマン：ピアノ・ソナタ 3 番 ブラームス：左手のためのシャコンヌ」をリリース。「レコード芸術」で準特選盤、毎日新聞で特薦盤となる。2021 年には 2 枚目の CD「シューマン：ピアノ・ソナタ 2 番, 1 番」が、「レコード芸術」で準特選盤、毎日新聞で特薦盤、「音楽現代」などで推薦盤となる。

2019 年からベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏シリーズを「渋谷美竹サロン」で開催、NHK からドキュメンタリーが放映される。並行してソナタ全曲録音を行い、2022 年 3 月に《ベートーヴェン ピアノ・ソナタ全曲集上巻》(CD 5 枚組) が発売、2023 年 3 月に同下巻が発売され、上下巻ともに「レコード芸術」で特選盤となる。現在、ベートーヴェン没後 200 周年に向け、郡山キャナル国際音楽祭において、二度目のピアノ・ソナタ全 32 曲連続演奏会を敢行中。

多くのリサイタルを開くほか、読売日本交響楽団、東京交響楽団、広島交響楽団などオーケストラとの共演も多い。三井住友海上文化財団の派遣アーティストとしても全国各地で演奏活動を行っている。

第 86 回日本音楽コンクール第 2 位、岩谷賞（聴衆賞）、三宅賞。第 4 回高松国際ピアノコンクール審議員特別賞。第 20 回日本クラシック音楽コンクール高校の部第 1 位、グランプリ。第 11 回大阪国際音楽コンクール、第 14 回ローゼンストック国際ピアノコンクール、各第 1 位。2015 年、皇居内桃華楽堂において御前演奏を行う。2017 年度香川県文化芸術新人賞。

ヤマハ音楽振興会、よんでん文化振興財団、岩谷時子 Foundation for Youth、宗次エンジェル基金より、奨学金の助成を受ける。

学術面では、論文「『ソナタ形式』からの解放」で第 4 回柴田南雄音楽評論賞（本賞）を受賞、翌年「演奏の復権：『分析』から音楽を取り戻す」で第 5 回同本賞を連続受賞。

東京藝術大学附属音楽高等学校、同大、同修士課程、同博士後期課程を修了、論文「演奏解釈の流行と盛衰、繰り返される『読み直し』：18 世紀から現在に至るベートーヴェン受容の変遷を踏まえて」で博士号を取得。

2020～2023 年、桐朋学園大学院大学専任講師。

オフィシャルサイト <https://tetsu-yurina-piano.com/>

（令和 7 年 8 月現在・転載禁止）